

情報モラル研修会を行いました。

白鷹中全校生、町内教職員が学びました。

令和4年11月14日（月）に、文部科学省ICT活用教育アドバイザーである山口大学教育学部准教授 阿濱 茂樹（あはましげき）氏による「身近なICTと上手に付き合うために」という情報モラルに関する講演会をオンラインで開催しました。情報機器を使わないように遠ざけるためではなく、その良さを生かすための上手な付き合い方とそのための判断力を身につけるためのお話でした。

「情報社会への変化」

◎生活の変化

- ↳ コミュニケーションの多様化
- ↳ **コミュニケーションスキルの変化**

◎学習の仕方の変化

- ↳ 問題解決学習（**問題に向き合う力**）
- ↳ 自分の**考えをまとめて、説明する力**

考えてみましょう！

・あなただったらどうします？

Q: 友達の変顔画像が送られてきて、ほかの人に転送するように促された

Q: 夜遅い時間にネットゲームの誘いを友人からうけた

Q: 友達と一緒に写った写真がよくとれているので、SNSに投稿したい

「ICTを活用するとき気をつけたいこと」

◎なりすまし（アカウントの乗っ取り）

- ↳ **パスワードの管理**

◎プライバシー（個人情報を守る）

◎他者の権利を尊重する（著作権、プライバシー）

◎情報の信ぴょう性

- ↳ 情報の出どころは？

- ↳ 複数の情報で確認

◎デジタルフットプリント

- ↳ **インターネット上の記録は消すことができない**

◎ネット依存

- ↳ デジタルマイルール（**家族と考える守れるルール**）

責任と権利のバランス
が重要

研修会資料を公開します〔期間限定〕

当日の資料をPDFでいただきました。
期間限定で下記のURLからご覧いただけます。

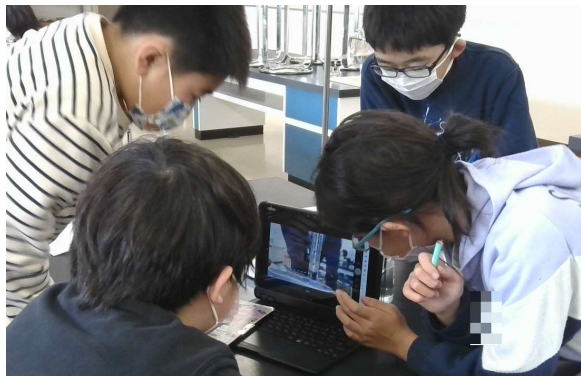
https://shirataka-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/r1001_shirataka-ed_jp/EeS-Cc10kOpKrDJR_JAsXFQB-jdgatGe5ujETb32bbkU1Q?e=1iru4b



◆公開期間：令和5年3月末まで

効果的な活用法を研究しています

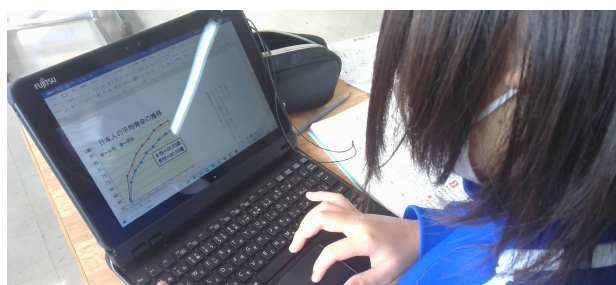
とにかくやってみよう！こんな使い方ができるんだね！



◆理科の実験の様子を動画で撮影。変化を詳細に観察できました。

プログラミングのアプリを使ったり、学習動画を視聴するといったそれ自体が目的となる活用の他に、ICTの多様な機能を効果的に活用できる場面や方法を模索しています。

動画を撮影し、コマ送りで再生することで変化を詳細に確認できるようになります。理科の他、体育でも運動の様子を自己分析するために活用しています。



◆グラフ資料を活用して、自分なりの国語の意見文作成。表現力向上中。

再度の
お願い

破損により修理対応するケースが増加しています

本格運用が始まり今年度になって、
「気が付いたら割れていました」
「落として画面が割れてしまった」
「画面とキーボードの間に物を挟んで画面が割れました。」
「飲み物をこぼしてしまっって壊れました」
と破損の報告が増加しております。

慣れから **丁寧な扱いを怠って** しまうケースがあるようです。
画面破損の修理に **約10万円かかります。**

端末は町からの貸与です。過失による修理は、ケースに応じて **費用を弁済いただく** こととしております。町で負担している部分もあります。これらは **税金** です。

特に、**複数回破損の報告** をいただく方は、丁寧に扱おうという意識が低い場合が考えられるため、状況によりご負担いただく割合が大きくなる可能性があります。

ご家庭で使い方の確認を行っていただく必要があります。町から貸与させていただく際に、ルールを守ることを同意をいただいているものです。学校での指導は継続しますが、保護者の方にも見届けいただきながら、ともに **「いつ、だれに見られても恥ずかしくない使い方」「常に誰かと共有する物であることを意識した使い方」** を定着させてまいりましょう。

